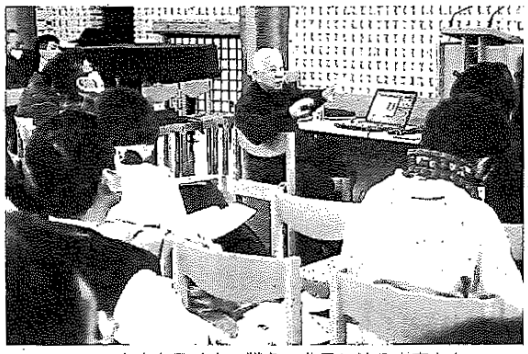
安斎さん講演会

極端な偏向世論に警鐘

ロ・ウ戦争の背景に迫る

健全な懐疑論者であれ

日本基督教団宇治教会礼拝堂＝宇治市宇治山本＝で先月28日、「人は見えているものから世界を見る～ウクライナ戦争を誘発したもの～」と題した講演会が開かれた。講師の安斎科学・平和事務所長の安斎育郎さん（83）＝立命館大学国際平和ミュージアム終身名誉館長＝が、ロシアとウクライナによる戦争の背景に迫った。「悪魔プーチン、英雄ゼレンスキー」という極端に偏った世論に警告を発し、激動の国際情勢の中で、歴史と現実に誠実に向き合うことの重要性を説いた。


ロシアとウクライナの戦争の背景に迫る安斎さん

安斎さんは、2022年4月下旬から毎日「ウクライナ情報」を発信。そして23年4月にはそれらをまとめた冊子「ウクライナ戦争論」の初版を発行。現在では8000部が普及し、大好評を博している。

講演会には約40人が参加。安斎さんは、「ロシア最凶でも、ウクライナ嫌いでも、アメリカ夢追い人でもない」と前置きした上で、ロシアとウクライナの戦争の原因については、アメリカが2009年に発足したオバマ政権のもとで、バイデン副大統領（現大統領）らが中心となってウクライナに親米政権の樹立を企て、親ロシア派のヤヌコーヴィチ政権を打倒すべく画策した2014年のユーロ・マイダン・クーデターによってポロシェンコ傀儡（かいらい）政権をつくり、この政権が極右民族主義者集団（ネオナチ）を正規軍に編入し、東部ドンバス地方に住むロシア語話者に民族浄化まがいの軍事弾圧を加えた結果だと明確に解説した。

さらにアメリカがNATO諸国を対ロ制裁に誘い込み、ヨーロッパ諸国のエネルギー依存を「対ロ」から「対米」に転換させ〝人勝ち〟状態をつくるとともに、自国の軍需産業に巨万の富を引き入れることにこそ、この戦争の本質があると指摘。アメリカが世界戦略の一環として10年以上にわたって周到に準備したものであり、決してロシアによる侵略戦争ではないと主張した。

世論が極端に「反ロシア・ウクライナ擁護」に偏っていることについては、マスコミが「ロシア批判、ウクライナ支援」という姿勢を貫き、ウクライナや西欧諸国の負の側面を伝えていないことに原因があるとした。

またマリウポリ小児科・産科病院爆撃事件、マリウポリの劇場爆撃事件、ブチャの大虐殺事件、ロシア兵による少女レイプ事件など、ロシアの仕業と報道された数々の事件の真相も解明。これらは全て重大な嘘が含まれたフェイクニュースで『ロシアのせいにしよう大作戦』に基づいて垂れ流された」とした。

安斎さんは、ソ連崩壊後にウクライナがたどった歴史、この戦争が始まる過程でアメリカやウクライナの正規軍に編入されたネオナチが何をしてきたかを直視すれば、ロシアが一方的にウクライナを侵攻しているという認識に対して疑問が湧くはずと戒めた。

改訂を重ね、今回の講演会に合わせて第9版を発行した冊子「ウクライナ戦争論」の裏表紙には「健全な懐疑論者であれ、情報の真偽をよく見極め、懐疑心をもって行動しよう」と記されている。

『安斎育郎のウクライナ戦争論』初めての全面報道

●N さんからのたより

貴重な冊子を送り頂きまして、ありがとうございます。新年早々の地震に驚かされ、京都はいかばかりかと案じておりました。そこへ先生からの絵手紙に感激するも、目を見張るような冊子に目が釘付けになりました。読み進めるうちに、私の中に築かれていた「バカの壁」が一つ一つ打ち砕かれていくのを感じ、新しい景色が脳裡に広がる思いでした。「健全な懐疑論者であれ」への私の一歩はおぼつかなく心細いものですが、この冊子を指南書に歴史からどう学ぶのか、学べているか、考える習慣が身についているかを常に問いながら、心新たに八十路をしっかり歩いていきたいと思います。ありがとうございます。感謝申し上げます。

先生の御著書『私の反原発人生と「福島プロジェクト」の足跡』に感激した友人がまたどんな感想を述べるか、ワクワクです。

注文部数12冊をお願いします。先生のお手を煩わすこと、心苦しいです。

●D さんからのメッセージ

今日届きました。福島での活動から帰って、直ちに発送手配をしていただいたということですよね。お疲れのところ、ありがとうございました。手書きのコメント・絵も素敵ですね。保存します。

講演会当日に2冊購入して、1冊は「新聞うずみ火」編集部の矢野宏代表へ届けました。「うずみ火」でも紹介されたらと思います。

今回の5冊は所属していたJR東海労働組合の仲間と交流のある「憲法を活かす京都郵政労働者の会」の代表に読んでもらおうと思っています。

めざせ1万部普及！

『ウクライナ戦争論』
安斎育郎著
改訂第9版（2024年1月28日）
108頁、フルカラー、図版満載
1冊300円
【申し込み方法】
jsanzai@yahoo.co.jp に
お名前・住所・電話番号・冊数を
書いてお知らせ下さい。
送料は1～7冊370円
10冊　520円
それ以上は重さと距離に依存

メール１本、すぐ発送